

コンセプト（案）について

1. コンセプトの考え方

《上位計画とのつながりを踏まえたコンセプトの考え方》

新・第5次総合計画 将来像
世界基準の自然と文化が、人のつながりや誇りを紡ぐ
希望と志にあふれるまち
『しあわせ 創生 あらお』

市民が「誇り」、「つながり」、「しあわせ」を感じながら人口減少を悲観することなく、未来に希望を持つことができるようなまちづくりを推進。

荒尾市立地適正化計画 都市づくりの基本方針
『スマートコンパクトシティあらお』
～人口減少から人幸増加へ～

将来にわたって活力ある荒尾を維持するため、「まち」に活力を取り戻し、市民が安心して暮らせる、「しあわせ」を実感できる「人幸増加都市」を目指す。

ウェルネス拠点基本構想 まちづくりコンセプト(案)
『有明海の夕陽が照らすウェルネスタウンあらお』

こことからだを癒し、明日への活力を生み出す空間づくりと居住者や来訪者の自己啓発につながる機能を備えながら暮らしやすいだけでなくワンランク上のライフスタイルが実現できるまちを目指す。

総合計画及び立地適正化計画では、市民が「しあわせ」を感じることができる「まちづくり」の実現を、ウェルネス拠点基本構想においては、ウェルネスを「輝くように生き生きしている状態」「身体的、精神的、そして社会的に健康で安心な状態」と定義し、人が「しあわせ」を感じる状態の実現を目指しています。
道の駅あらお（仮称）においても、市民や訪れた人が「しあわせ」を感じてもらえる場所にしたいと考えており、「しあわせ」をコンセプトワードとします。

《整備目的と委員の意見を踏まえたコンセプトの考え方》

整備目的

- 地域経済の活性化
- にぎわいとくつろぎの場の創出
- 防災拠点の形成

○第2回委員会における意見

- ・ユニークコンツに係る様々な機能及びそれらと連携した展開
- ・有明海と夕陽に関する内容
- ・未来型のまちづくり
- ・子どもが遊べる公園 など

- ・荒尾市の特産品を使った独自の食
- ・健康 ・地域資源の活用
- ・情報発信 ・立地的な優位性
- ・避難所的な役割（防災） など

反映

地域経済の活性化やにぎわいを創出するためには、「活気や活力」が必要不可欠です。また、「食」や「健康」は「元気」を連想させます。

地域資源の活用や情報発信、立地的な優位性により人を呼び込み、地域の「活気・活力」を向上させ、様々な「元気」を生み出す場所にしたいと考えており、「元気」をコンセプトワードとします。

反映

参考

2. コンセプト（案）について

コンセプト

しあわせと元気の創造ステーション

～ 有明の海と小岱の山で紡ぐ「食ものがたり」 ～

道の駅あらお（仮称）は、荒尾市、更には熊本県における北の玄関口として、活力を呼び込む「ゲートウェイ」と位置付け、魅力を発信するとともに、道の駅をハブとした地域の魅力を渡り歩く旅を提案します。

また、本市の地域資源を活用し、「食」を中心とするサービスにより「元気」を生み出すことで地域経済の循環を拡大し、市民、来訪者、小さな子どもからお年寄りまで、誰もが生き生きと過ごすことで「しあわせ」を感じる場の創出を目指します。

整備の方向性

★特徴ある荒尾の地域資源を活かしたサービスにより、来訪者に満足度高いおもてなしを提供する施設 ⇒「食」にフォーカス

★南新地地区に立地する新たな施設との機能的な連携により、複合的なサービスを提供する施設 ⇒ウェルネス拠点基本構想（案）にて整理